

# TIBA Swiss made Cheminéeöfen

## 取扱説明書



この取扱説明書は将来のためにも大切に保管してください。

# Tiba.

## 目次

	ページ
<b>1</b> 紹介・前置き.....	<b>3</b>
<b>2</b> 重要なお知らせ .....	<b>4</b>
2.1 用途.....	4
2.2 煙突のドラフト.....	4
2.3 安全確認.....	5
<b>3</b> 機能と各部名称 .....	<b>6</b>
<b>4</b> ストープの組み立て .....	<b>8</b>
<b>5</b> 断熱煙突への接続 .....	<b>10</b>
<b>6</b> 燃料（薪） .....	<b>11</b>
<b>7</b> 燃焼と薪の追加 .....	<b>12</b>
7.1 初期燃焼・使用前の一般的な準備.....	12
7.2 ストープの燃焼.....	13
7.3 薪の追加 .....	13
<b>8</b> クリスチア・オーブン.....	14
<b>9</b> 掃除 .....	<b>15</b>
<b>10</b> トラブルシューティング .....	<b>17</b>
<b>11</b> 保証 .....	<b>18</b>
<b>12</b> ティバ・カスタマー・サービス.....	<b>19</b>
<b>13</b> テクニカルデータ .....	<b>20</b>

## 1 御使用の前に

この度は品質の高いスイス製のクリスチア、クリスチア・モジュール、クリスチア・ベイクをお選びくださり誠にありがとうございます。

このストーブの開発は薪ストーブのフィールドで最新の燃焼テクノロジーの発明のもとに製造されました。

しかしながらすべての薪ストーブが完璧な機能とクリーンな燃焼を実現するには、専門家による取付けと正しい取扱いを必要とします。

ストーブの間違った操作、使用方法はコントロールできない状況を招き、大変危険です。

従って事前にこの取扱説明書を完全に理解した上で御使用くださいます様にお願いいたします。

この取扱説明書に書かれている操作方法を守らないで起きた事故誤作動に関しては損害として認められませんので、この取扱説明書の使用方法を厳守してください。

このストーブは外気供給で使用できる為高気密住宅や低エネルギー住宅に設置できます。



## 2 重要なお知らせ

このストーブは最先端の最新式テクノロジー及び安全基準に従って製造されています。

それにもかかわらず、間違った操作や不適切な燃料（薪）の使用は、人身事故やあなたの財産に重大な損失を与えるかもしれません。

薪の過剰な投入などによる制御不可能な条件は、最低年一回のメンテナンスと取扱説明書を遵守することで避けることができます。

### 2.1 用途

ストーブは自然乾燥された自然の木材を燃やすことで初めて最適な燃焼が実現いたします。



**重要：** 家庭ゴミを燃焼させては絶対にいけません。

なぜゴミを燃やしてはいけないのでしょうか？

三つの理由があります。

1. ストーブ内でのゴミの焼却は不完全燃焼を起こし、自然環境上植物の無秩序な浪費でしかありません。
2. 有害な腐食性排ガスはストーブの寿命を縮めます。
3. 煙突内の排ガス残留物は煙突火災の原因になり大変危険です。

### 2.2 排煙ドラフト

高すぎる煙突は結果として高温になりすぎ、建築または耐熱塗料にダメージを与えます。

その為、煙突ダンパーを装着することで排ガス温度を抑制させて高温によるダメージから守ります。

## 2.3 安全喚起

以下の点に注意することで、あなたの生命と財産を守ります。

### 操作

長時間燃焼時は操作ハンドルが熱くなります。  
この場合付属のグローブを御使用くださいませ。



注意：表面が熱くなっています。  
触ると火傷をします！  
操作中は常に気をつけて下さい。

### 燃焼室のドアを開ける



警告：火災の危険があります。  
燃焼中は燃焼室ドアを開けないで  
ください

### 新鮮な空気を供給して ください

もし外気供給ができない場合、燃焼に必要な十分な空気の確保を行ってください。



警告：燃焼用空気の酸素不足は窒息の恐れがあります。  
燃焼に必要な適切な空気があることを  
確認してください。

### キッチン換気扇

外気供給のない状況下でのストーブの使用は、燃えている間キッチン換気扇を使用してはいけません。外気供給されている状況下でのみ、キッチンの換気扇とストーブの使用は可能です。

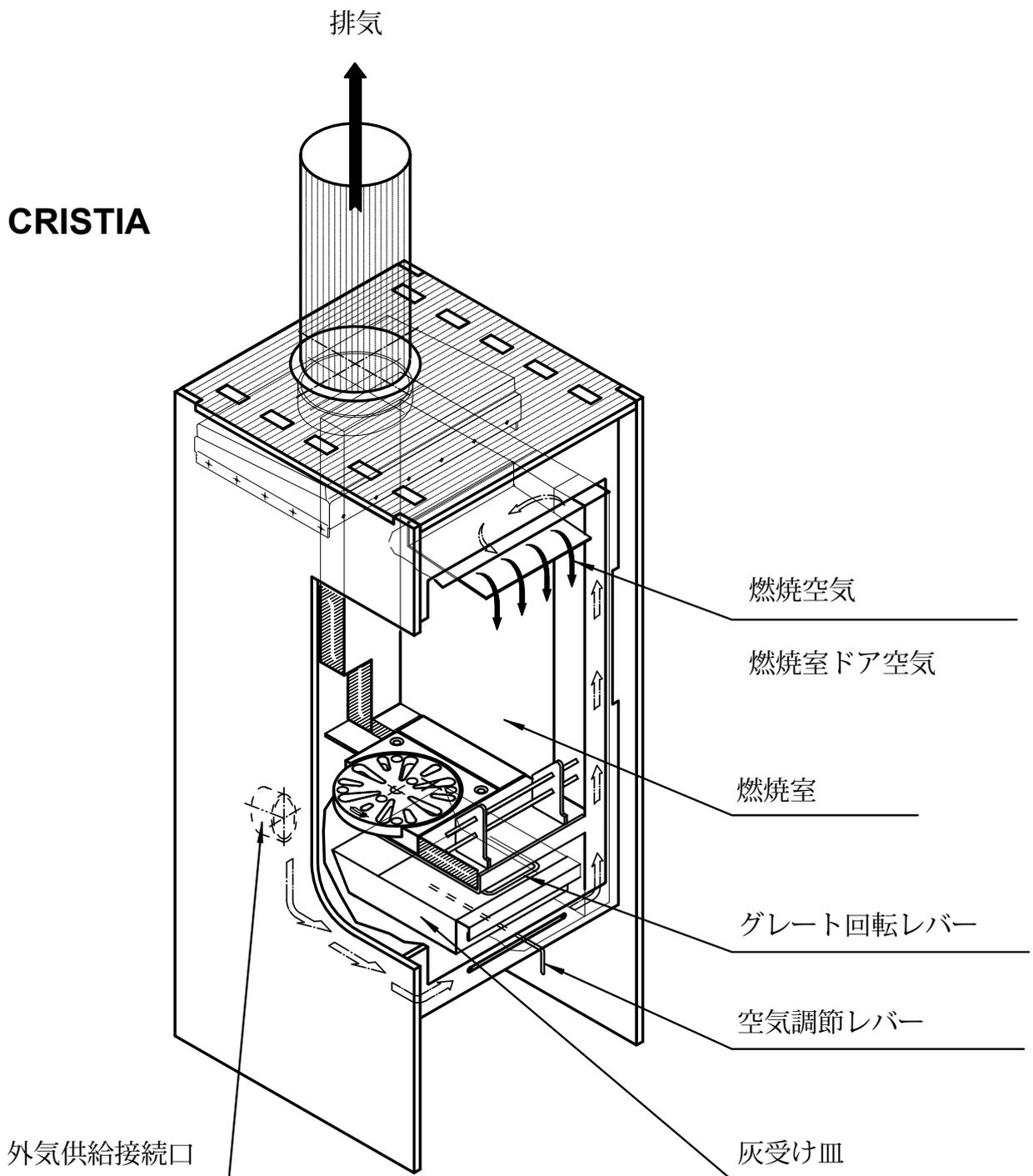
### 掃除



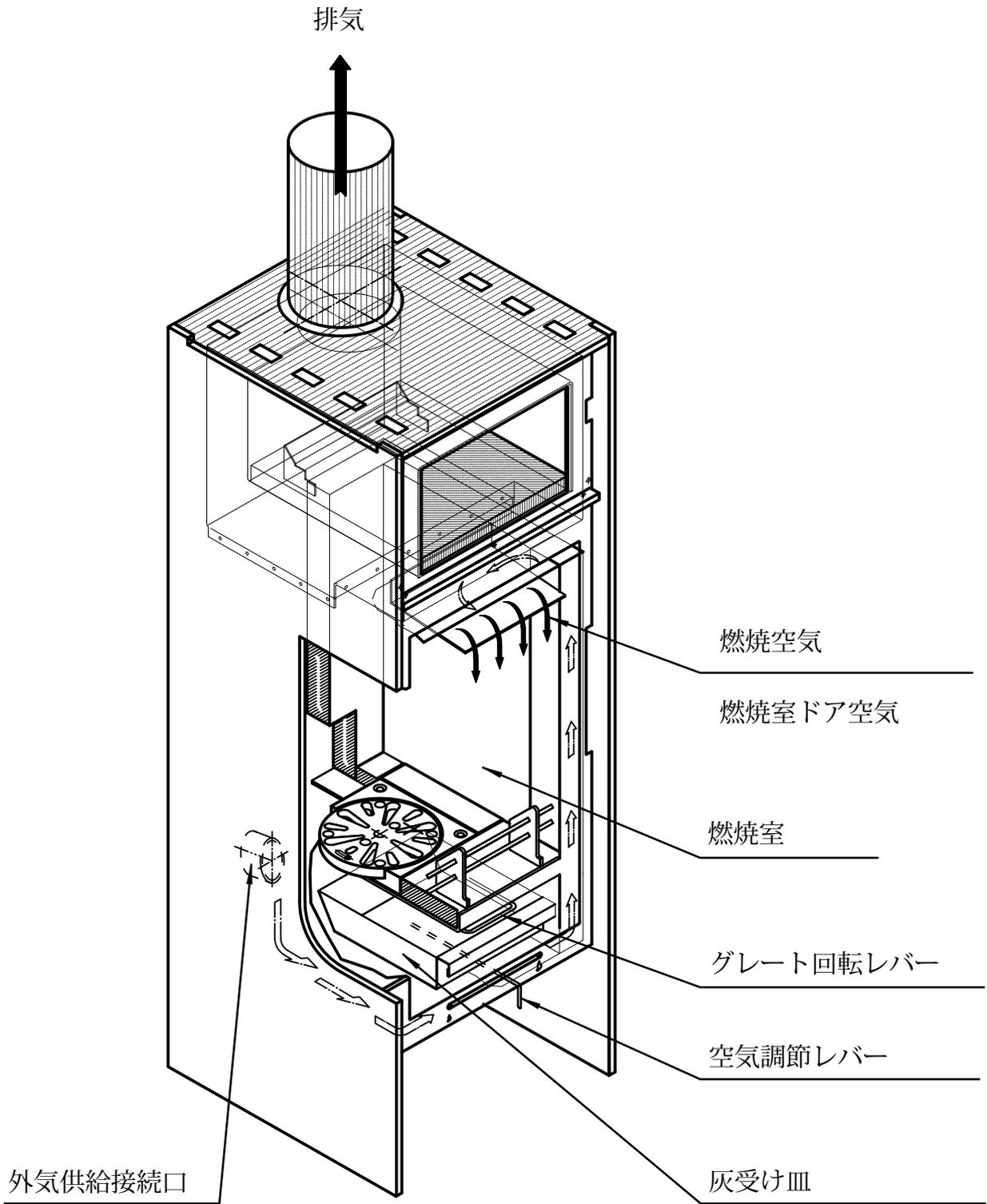
警告：掃除機で灰を吸い取ると火災の危険があります。  
熱い灰を吸い取ることは火災と隣り合わせなので、完全に冷えたことを確認してから掃除機で吸い取ってください。この目的のためには特別な掃除機を使ってください。（薪ストーブ専用掃除機があります。）

### 3 機能と各部名称

この図はCRISTIAストーブの操作と各部名称を説明しています。



# 取り付け



## 4 ストープ組み立て

取り付け前は必ず可燃物までの最低安全離隔距離の確保を専門家に御依頼くださいませ。ストーブ使用者は安全のために適切な取り付け義務があります。

安全離隔距離	可燃物までの最低安全離隔距離	
	● 横・後ろから	10 cm
	● 前面燃焼室ドアから	80 cm
	● ストープ上部から天井まで	50 cm

**床と炉台**

ストーブ下の床は補強してください。一般的な建築強度にかかわらずストーブを設置するための十分な補強が施されているか確認してください。  
ストーブの設置される床は不燃材の素材を敷いて下さい。  
(例、金属板、石、タイルなど)

**もし床が可燃性の素材の場合**

もし床が可燃性の素材であるなら、ストーブ前面より40cm以上は不燃材の素材で覆ってください。

**設置できないエリア**

以下の条件ではストーブは設置できません。

- 可燃性の素材や延焼が容易に引き起こされるような空間。
- 可燃性のガスや蒸気が充満しているような空間や埃っぽい場所への設置。
- 燃えやすいものが保管されている空間。
- 出口と脱出ルート。

## 5 煙突接続

煙突計画	<p>煙突計画は消防法、建築基準法、各地方の火災条例などを厳守し将来にわたって安全が確保できていることが必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 400℃以上の熱に耐えられる素材と構造になっていること</li><li>• 煙突との安全離隔距離が十分に保たれていること</li><li>• 天然の木材を燃料として使うことが前提で、耐食性に優れていること</li></ul> <p>排ガスの排出は燃焼残留物が積層されない構造になっていること。</p>
工事	<p>このストーブは複数台のストーブと同じ煙突を共有できる安全性が確保されています。</p> <p>接続される薪ストーブは最大20kWの出力である事。総合計出力が70kWを超えないこと。</p>
煙突の吸引力	<p>ストーブの十分な性能を導き出す為に必要なドラフト力が10～15paになっていなければならないけません。</p>
煙突径	<p>煙突の直径は150mm。150mmより小さな煙突に接続してはならない。また180mmより大きくしてはならない。</p>
煙突ダンパー	<p>煙突径に合ったダンパー径であること。</p>

## 6 燃料（薪）

CRISTIA, CRISTIA-Modula, CRISTIA-Backは針葉樹と広葉樹に適したストーブとして設計されています。

乾燥した薪を使ってください。（含水率は15%以下）  
 着火用の薪と追加の薪は長さ25cmで、必ず割った薪を使用してください。

- 針葉樹 最大直径 2 cm
- 細割薪 最大直径 4 cm
- 大割り薪（針葉樹） 最大直径 8 cm
- 大割り薪（広葉樹） 最大直径 10 cm

薪は割られたものをご使用ください。 最大直径 10 cm

乾燥と保管  
 薪は2年から2年半ほどの乾燥期間が必要です。そのうち1年は雨に当たらないような場所に保管してください。湿った薪はストーブの性能の半分程度の出力しか得られません。

少量の薪での使用が可能  
 大きな出力が必要ない時、広葉樹または針葉樹を燃焼室の真ん中に投入して下さい。

使ってはいけない薪  
 以下の薪は使用できない。

- 大鋸屑、チップ、合板、ペレット
- 石炭とコークス
- プラスチックが付着している薪、薬剤が施されている薪
- 液体などの可燃性素材
- すべてのゴミ

これらの認証しがたい薪を使用した場合、ストーブの寿命を縮めるばかりでなく如何なる保証も認めない。

環境保護  
 環境保護のために廃棄物を燃やすことはできない。有害な物質を排出します。

## 7 燃焼と追加の薪

このストーブの使用はとても簡単ですが、取扱説明書に書かれている内容を厳守してください。

### 出力

出力は薪の投入量に依存しますが、空気調整やダンパー操作でも同様に行うことができます。

基本的には薪の投入量で出力を調整しますが、ドラフトが強すぎる場合に空気調節またはダンパー操作を行ってください。

燃焼終了後はダンパーを閉じることによって、ストーブが急に冷めるのを防ぐことができます。

### 7.1 初回燃焼

最初2～3回の燃焼で煙突の塗料が燃え匂いを発します。少量の薪の燃焼から始めてください。



その間塗料がしっかり定着するまでストーブと煙突には触らないでください。

部屋は換気してください。

もし塗料がはがれたりした場合は、スプレーペイントでタッチアップして下さい。

## 7.2 着火

- ステップ1 2 kgの良く乾いた薪を用意して下さい。  
p10を参照
- ステップ2 煙突ダンパーを全開にしてください。
- ステップ3 燃焼室ドアを開け灰を取り除いてください。  
灰が落ちるようにグレートレバーを操作してください。前回の燃焼で残った炭は燃焼室に残っていても問題ありません。むしろ着火の手助けになります。
- ステップ4 燃焼室に薪を投入してください。  
燃焼室には2本～3本の薪とその上に5cm～10cmほどの長さの細割薪を入れてください。  
細割薪は井桁に組み隙間に着火剤を差し込んでください。これで着火の準備が整いました。
- ステップ5 空気調節レバーは全開にして下さい。  
エアレバーは大きな炎のマークの位置にして下さい。
- ステップ6 マッチなどで着火剤に点火して下さい。
- ステップ7 燃焼室ドアは閉めてください。  
時折煙突が冷えているとドラフト力が得られないため、燃焼室のドアを5分ほど少しだけ開けてください。その間キッチンなどの換気扇のスイッチはオフにしてください。
- ステップ8 燃焼の勢いが緩やかになってきたら煙突ダンパーを調整して下さい。  
約20分後には煙突のドラフト力が安定し始めますので少しづつダンパーを閉めてください。この時燃え方が緩やかになったらダンパーを閉めすぎていますので、燃焼が弱くならない程度に調整して下さい。



## 7.3 薪の追加

- 薪を追加する時、室内への煙の逆流を防ぐためには、燃焼室のドアを開ける場合、熾火以外の時には行わないようにしてください。  
空気調節レバーは炎が大きく上がるように最大にしておかなければなりません。  
薪を追加する場合は以下の手順に従って下さい。
- ステップ1 薪をストーブの近くに用意して下さい。  
p10を参照して下さい。
- ステップ2 薪の追加  
約1kgの薪を1本だけ投入して下さい。

注意：暖かさを一定に保つためには最大1kgの薪を投入することで可能です。

## 8 クリスチア・オーブン

### オーブン室

オーブン室の周りが温められ、一定の温度になるように最適な薪の投入を行ってください。オーブン室の後ろと手前では温度が異なりますので、お料理が出来上がる前に後ろと手前を入れ替えてください。



### ベイク料理

オーブンでピザ、パン、ケーキなどのベイク料理ができます。オーブン庫内が180℃～250℃になるようにオーブン用温度計で調整して下さい。

約30分～1時間ほどで所望の温度まで上昇させることができます。

長時間の調理時間が必要な場合は、焦げないように網を下に置くと良いでしょう。

オーブン用温度計は見やすい位置に置いてドアを閉めてください。

時折焼け具合を確認してください。奥は温度が高くなるので注意して下さい。

オーブン庫内の左側についているカバーフラップはお料理から出る湿気を逃がすことができます。

再びオーブンを使うときはカバーフラップは閉めてください。

## 9 お掃除

お掃除は年1回～2回必ず行ってください。

煙突掃除されていない場合、煙突火災を起こす危険があります。

定期的なメンテナンスはストーブの寿命を延ばしストーブの性能を十分に出すことができます。

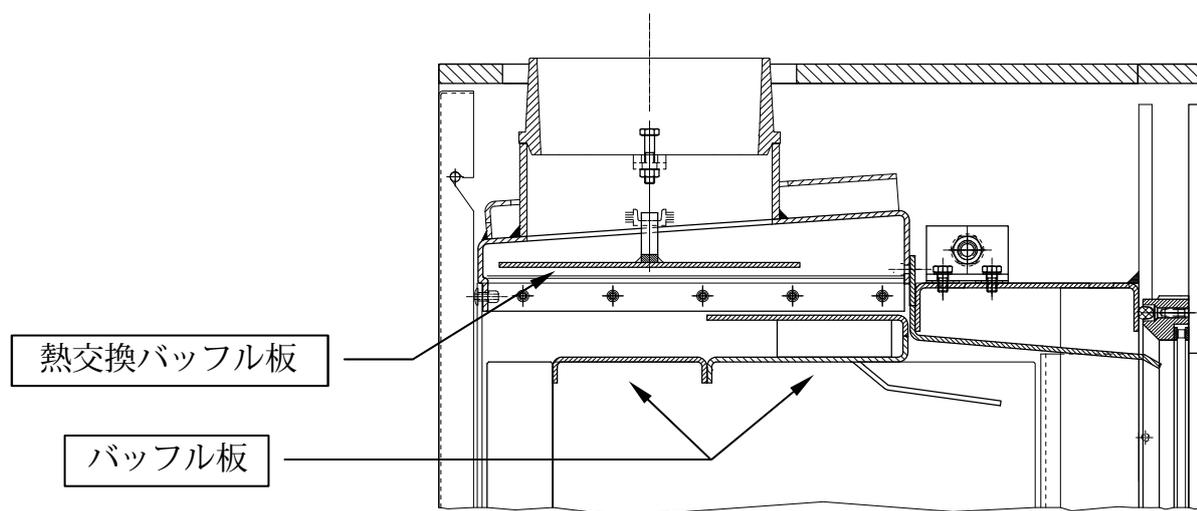
### 灰受け皿

灰は定期的に取り除いてください。灰受け皿の下にあるプレートで蓋をして灰が室内に飛散しないように室外へ運び出して下さい。

灰は金属製の缶の中に48時間以上保管してから、冷えていることを確認した後処分して下さい。小さな熾火の欠片は長時間灰の中で燃え続けます。火災に注意して下さい。

### バッフル板

燃焼室上部の二つのバッフル板は掃除の時には取り外して下さい。図を参照。

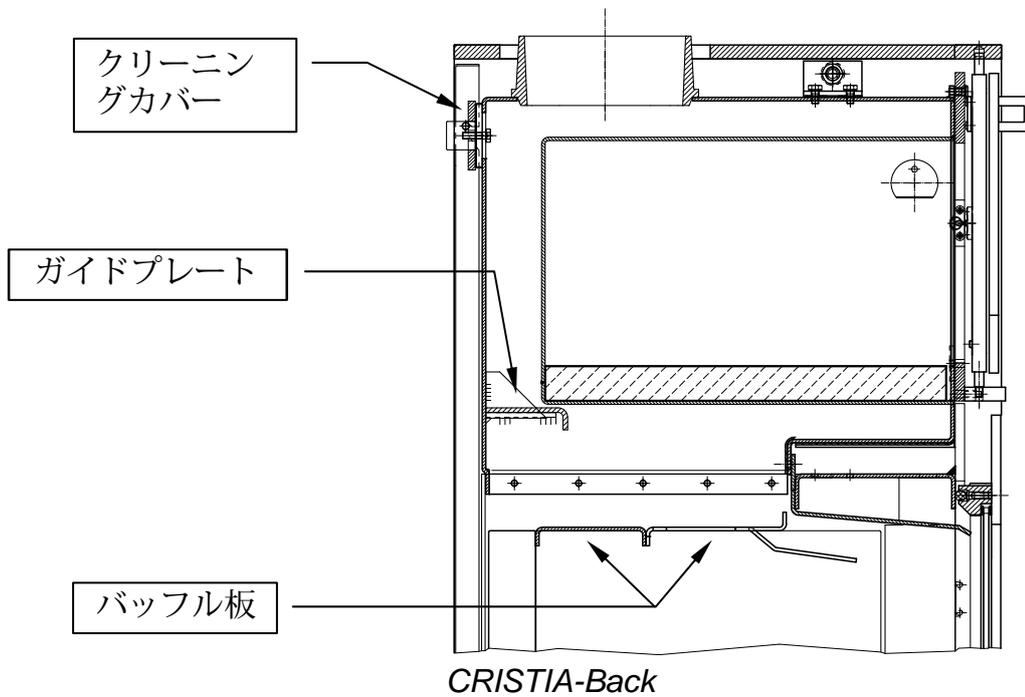
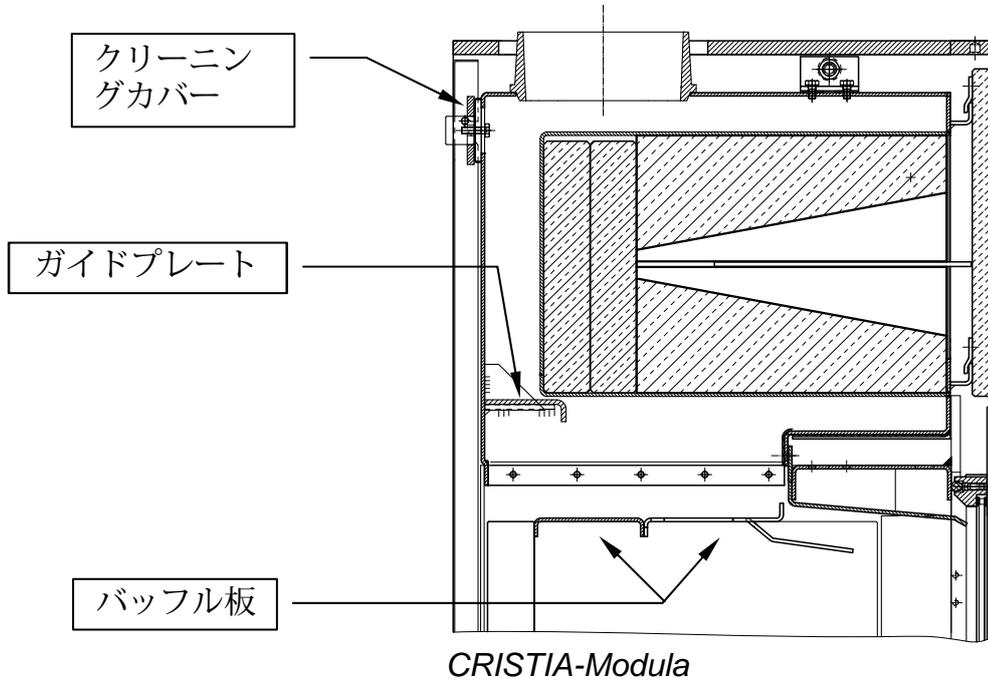


CRISTIA

再度バッフル板をセットする場合は正確な位置にセットされているか確認して下さい。

熱交換バッフル板

二つのバッフル板とガイドプレートも同様に綺麗にし元の位置に正確にセットして下さい



重要：ガイドプレートには、燃焼室の温度を一定に保つ重要な働きがあるため、必ず正確な位置にセットして下さい。

## 10 トラブルシューティング

- 煙突効果がない時      もし煙突のドラフト力が十分でない時、新聞紙などを燃やしてウォーミングアップをして下さい。ストーブをより良く燃焼させるためには以下の指示に従ってください。
- 薪が燃えない時
- 素早く高温燃焼になるように、常に細割薪を燃やして下さい。
  - 薪の乾燥不足か薪が太すぎます。p10を参照。
  - 煙突の機密が悪く空気が漏れています。
  - 煙突ダンパーまたはストーブの空気調節レバーが閉じています。
- ガラスの汚れ      ススは高温で燃やされた時燃えてしまいますが、湿った薪を燃やした場合ガラスが汚れます。濡れたティッシュペーパーに灰をつけて内側から拭いて下さい。

## 11 保証

### 証明書

あなたは最高のスイス製商品を購入されました。  
ティバ・トーンヴェルクの製品は精密に作られ厳密な最終検査が行われています。  
我が社の製品はもっとも高い品質を保証しており、スイス品質保証協会の証明書を所有しています。  
それにもかかわらず欠陥が明白であるならば、我々は以下の如く保証をいたします。

### 保証期間

保証の開始はストーブが設置された時から始まります。  
保証書に設置日が記入されていることが必須です。

- 5年間のストーブ本体の鉄の部分とメカニクへの保証
- タイル、天然石、表面の色には1年間の保証期間
- 消耗品には6ヶ月を設けています。（バーミキュライト、クラディング、耐火レンガ、グレート、ガラス。）

### 保証サービス

もし損害が以下のいずれかに該当する場合は、保証期間内であっても終了または打ち切られますのでご注意ください。

- 外的な影響、不可抗力によるダメージ
- 不適切な設置
- 設置と運搬中のダメージ
- 取扱説明書の非厳守
- 間違った操作、メンテナンスと修理
- 通常の磨耗

保証はすべての法的要求を除外します。

**TIBA AG, CH-4416 Bubendorf**

## 12 顧客権利

我々はあなたに寄り添っています。必要な時は我々のサービスを使ってくださいますようお願いいたします。

### 顧客サービス

技術的な質問、誤作動、またはその他サービスの要求がございましたら、お気軽に御連絡くださいませ。

ティバ・トーンヴェルク 日本総代理店 青い空  
愛知県春日井市高森台6-13-10

 **0568 - 91 - 2040**

 **Schweiz: 061 935 17 10**

 **EU: 0041 61 935 17 10**

### 故障の際には：

保証について御連絡いただく時はメーカーの製造番号、製造年月日をお知らせください。  
燃焼室後ろのフレームに下記のようなモデル識別プレートが御座います。

<b>Tiba.</b> CH-4416 Bubendorf CH-2006 Neuchâtel	Typ: CRISTIA	Nr. 001	<b>01.07.2008</b>
	Herstell-Nr:	<b>123456/000</b>	
	Nennwärmeleistung:	6 kW	
	Kaminzug:	10-15 Pa	
	Brennstoff:	Stückholz naturbelassen	
	Zulassung VKF Nr.:	000000 / Bauart 1	

### 日本輸入元 青い空

TIBA-TONWERKのすべての商品について、我々は喜んであなたにアドバイスをさせていただきます。

### TIBA-TONWERK

スイス本社  
TIBA AG Hauptstrasse  
147 CH-4416  
Bubendorf Telefon:  
061/935 17 10 Telefax:  
061/931 11 61

西スイス支店  
TIBA SA  
Rue des Tunnels 38  
CH-2006 Neuchâtel  
Telefon: 032/737 74 74  
Telefax: 032/737 74 80

**www.tiba.ch**

### その他の販売センター

ドイツ、フランス、オーストラリア、イタリア

## 13 テクニカルデータ

タイプ	CRISTIA	CRISTIA-Modula	CRISTIA-Back
出力	6 kW	4–6 kW	6 kW
暖房容積	200 m <sup>3</sup>		

### 寸法と重さ

煙突径	151 mm 室内 / 159 mm 屋外			
接続	上			
外気供給口径	W × D × H	448 x 468 x 1100mm	448 x 468 x 1335mm	448 x 468 x 1335mm
燃焼室の大きさ	W × D × H	280 x 360 x 500 mm		
灰受け皿	容量	4.5 l		
外気供給経路	直径	80 mm		
素材	スチール			
重さ		250 kg	360 kg	315 kg

### 燃焼テクニカル値

空気量	12 Pa		
燃焼効率	78,8%	78,8%	78,8%
排ガス温度	254	254	254
排ガス量	6,5 g/s		

### 薪

使用できる薪	広葉樹・針葉樹
薪長さ	25 cm (max. 33 cm)
最大薪サイズ	10 x 10 cm

### 認可

規格	EN 13240
火災保険書番号	VKF-Nr. 13386

### 保証とサービス

保証	5年 鋼板部と構造
メーカー	TIBA AG, CH-4416 Bubendorf

### ヒント

これらのすべての仕様は広葉樹の薪を使用した場合の数値です。(含水率 15%)

発行者名： TIBA AG, CH-4416 Bubendorf ストープのデータは変更されることがあります。 © 2016年2月20日	20.34D
---	--------

Tiba AG  
 Hauptstrasse 147  
 CH-4416 Bubendorf  
 Tel. 061 935 17 10  
 Fax 061 931 11 61

**Tiba.**  
 www.tiba.ch

Tiba SA  
 Rue des Tunnels 38  
 CH-2000 Neuchâtel  
 Tél. 032 737 74 74  
 Fax 032 737 74 80